

みどりの食料システム戦略

農林水産省HP
QRコード



～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～

環境負荷低減を目指す農林水産省の政策方針「みどりの食料システム戦略」をご存知ですか？我が国で起こっている大規模自然災害、世界で問題になっている地球温暖化、生産者の減少や高齢化など農林水産業に関わる政策課題は山積んでいます。諸外国は、環境や健康に関する戦略を組み合わせながら持続可能な食料システムを構築し、将来に備える動きを見せています。我が国も、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を実現するため新たな考え方や技術を取り入れ、新たな価値を創造し、変革をもたらす取組として出した政策が「みどりの食料システム戦略」です。

2050年までに目指す姿

農林水産業のCO2排出量ゼロ化の実現



低リスク農薬への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により化学農薬の使用量(リスク換算)を…

50%低減

輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を…



30%低減

耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を…



25%に拡大
100万 ha

※一部の取組方向は省略



期待される効果



経済

持続的な産業基盤の構築

- 輸入から国内生産への転換(肥料・飼料・原料調達)
- 国産品の評価向上による輸出拡大
- 新技術を活かした多様な働き方、生産者のすそ野の拡大

社会

国民の豊かな食生活・地域の雇用・所得増大

- 生産者・消費者が連携した健康的な日本型食生活
- 地域資源を活かした地域経済循環
- 多様な人々が共生する地域社会

環境

将来にわたり安心して暮らせる地球環境の継承

- 環境と調和した食料・農林水産業
- 化学農薬・化学肥料の抑制によるコスト低減
- 化石燃料からの切替によるカーボンニュートラルへの貢献

※農林水産省「みどりの食料システム戦略について」説明資料より抜粋

「みどりの食料システム戦略」の新法が4月22日の国会で可決！この食料システムを進めるうえで、生産者だけに負担が集中しないよう配慮することを含めた附帯決議がなされました。

※下線は全てJA千葉中央会によるものです。

環境と調和のとれた食料システムについては、農林漁業者、食品事業者、消費者等の幅広い関係者の理解の下、これらの者が連携することにより、その確立が図られるものであることに鑑み、国が必要な施策の検討及び実施を行うに当たっては、農林漁業者等、特定の者のみに過度な負担をもたらすことがないよう配慮するとともに、農林水産物・食品の付加価値を高め、農林漁業者をはじめとする関係者の経営の発展、農山漁村の活性化に資するよう努めること。(※以下省略 第208回国会 参議院農林水産委員会(令和4年4月21日) 附帯決議より一部抜粋)